誠実に・着実に・皆様とともに

西山かずみ

市議会活動報告

会報：第21号

いわき市 IWAKI CITY 討議資料

教育福祉常任委員会　委員
議会運営委員会　委員
議会改革推進検討委員会　委員長
災害等対策推進特別委員会　委員

ごあいさつ

新年度が始まり何かと気忙しい日々が続きますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。現在、新型コロナウィルスの感染者数が増加に転じてきていることから、第７波による影響が大変心配されるところです。感染者年齢にも変化が見てとれるようですので、基本的な感染予防策について、いま一度、ご家庭で確認をお願いいたします。本市は、国や県の対策等を踏まえた、感染拡大防止対策（確かなブレーキ）と市内経済の活性化（ゆるやかなアクセル）との両立で、一日でも早く平穏が訪れるよう担当部を中心に日々対応に努めているところです。さて、私は、令和４年２月定例会において、次期水道経営計画及び農業・農村振興計画関連の一般質問を行いましたので、説明責任の一環としてご報告させていただきます。

令和４年２月定例会

「いわき水みらいビジョン 2031」で取組む主要事業について

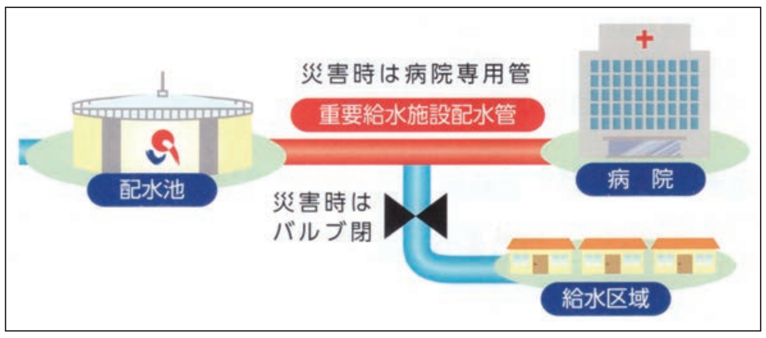
Q 質問　「安全」、「強靭」、「持続」という３つの観点のもと、12の施策の柱を設定し、柱ごとに体系的な視点で様々な施策や事業を展開することや、目指すべき将来像の実現に向けて特に重要な事業として、水道施設総合整備計画に関連する９つの主要事業を設定しているとのことですが、重要給水施設配水管整備事業の現在の整備状況について伺います。

A 答弁　水道局では、地震災害対応マニュアルに基づき重要給水施設である救急医療機関と人工透析病院24施設、公共施設34施設、福祉避難所８施設の合計66施設を選定しております。現在、今年度末までに救急医療機関と人工透析病院６施設、公共施設６施設、福祉避難所２施設の14施設までの耐震管が整備完了する見込みです。

平第２配水池

Q 質問　それでは、今後の整備予定施設などの考え方はどのようなものか伺います。

A 答弁　今後の整備予定施設については、令和4年度から令和8年度までの5年間において、いわき市医療センターなど救急医療機関と人工透析病院14施設、公共施設8施設、福祉避難所5施設の合計27施設までの耐震管を整備します。令和９年度以降においても、残る25施設までの耐震管について早期の完成を目指し計画的に整備します。



特に救急病院や人工透析病院については、人の命に直接関ってくるものなので、災害時にも確実に重要給水施設へ優先的な給水を確保するための管路の耐震化を計画的に推進されるよう要望します。

Q 質問　９つの主要事業については、どの事業も必要不可欠な事業であり、今後、確実に推進していく必要があると思いますが、主要事業の進捗管理をどのように行っていくのか伺います。

A 答弁　主要事業の進捗管理につきましては、浄水場のバックアップ率など14の重要業務指標を設定し、事業の実効性を確保することとしています。事業の実施状況については、年度ごとの進捗管理と事業効果の点検や評価を行います。また、改善等の必要が生じたものは、翌年度以降の計画や予算に反映するものとし、ＰＤＣＡサイクルによる事業推進を図るものです。さらに、事業評価の結果は、水道事業経営審議会へ報告し、ご意見をいただきながら今後の事業運営に反映していくとともに、市のホームページなどで公表するものとしています。

主要事業の取組状況は、市民の皆さまが大変気にしていることと思いますので、基本理念にあるように、いわきの水道を未来に着実に引き継ぐために、強靭な水道施設の構築に着実に取組まれるとともに、市民の皆さまに主要事業などの事業の進捗がどのようになっているのか、分かりやすくお知らせすることについて強く要望いたします。